

JAXA タウンミーティング in 榎原 開催報告

平成 26 年 9 月 6 日、榎原市のご協力により、JAXA タウンミーティング in 榎原「榎原発・日本の宇宙開発を考える」を開催しました。今回は、宇宙科学研究所 嶋田教授と戸田防災利用システム室長から話題提供を行い、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

■開催日時 平成 26 年 9 月 6 日（土） 13:30~16:00

■場所 かしはら万葉ホール

■参加者数 86 人

■登壇者

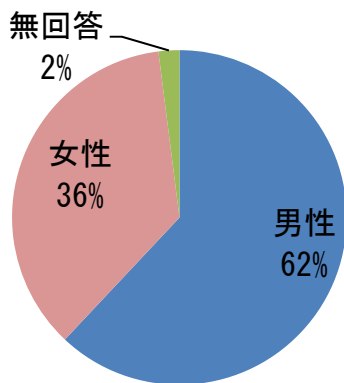
- ・第一部：嶋田 徹 JAXA 宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 教授
「低コストで安全な宇宙輸送を目指して～ハイブリッドロケットの研究～」
- ・第二部：戸田 謙一 JAXA 第一衛星利用ミッション本部 衛星利用推進センター 防災利用システム室長
「だいち 2 号に期待される防災利用やビジネス利用について」

■進行コーディネータ

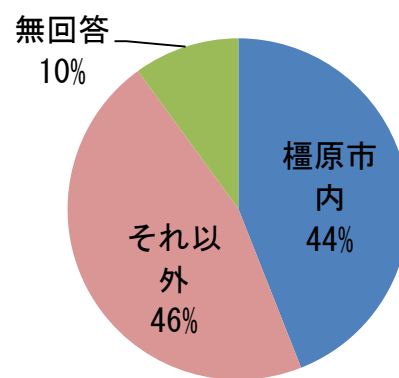
JAXA 広報部長 上垣内 茂樹

アンケート回答者の属性（有効回答数：50）

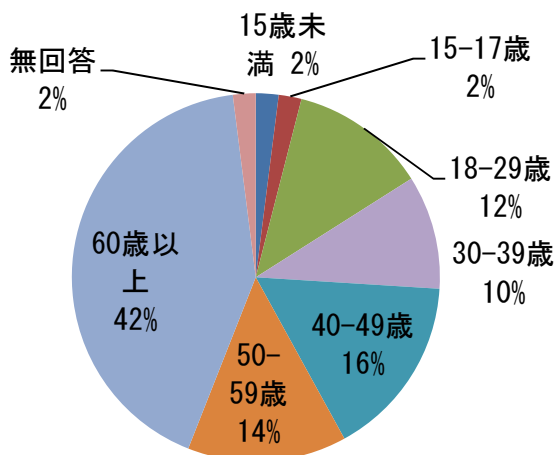
1. 性別



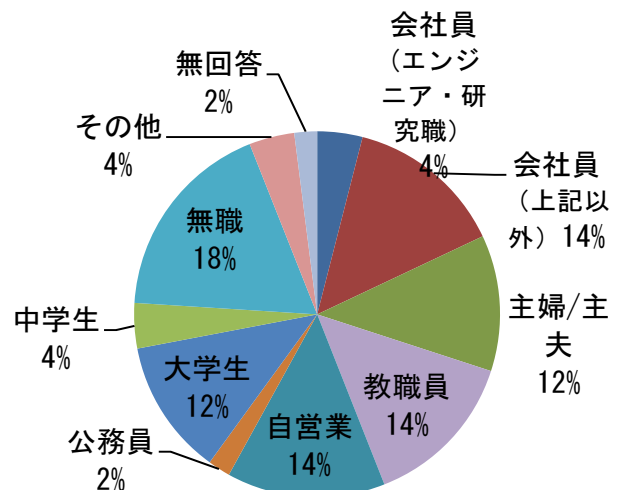
2. 居住地



3. 年齢



4. 職業



当日出た主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

「低コストで安全な宇宙輸送を目指して～ハイブリッドロケットの研究～」

- ・ まずはロケットや衛星を低コストにすることで可能性がさらに広がるんだと、無知ながら知ることが出来ました。夢があって感動しました！
- ・ コストがかかる現実的なことがありますので何ともいえませんが広めていって皆さんに理解してもらったら資金も集まると思います。
- ・ ハイブリッドロケットの燃焼の原理が従来の固体・液体燃料とどう違うのかよく分かりませんでした。
- ・ 民間のスキームが始まっていること、認知度が上がればファンドも立ち上がるのでは。衛星打ち上げまでのロードマップが知りたい。
- ・ 予算の少ない中で、様々な努力をされていることがよく分かりました。
- ・ 液体のH₂、固体のイプシロンの改良が有益で、大型衛星をあげる見込みがたたない研究は経費の無駄。研究開発の集約が重要。
- ・ ハイブリッドロケットの今後の計画、実効性はどう進めていくのかについて、もっと知りたいし、その進捗具合を高めていく為に、どうすればよいかについて知りたい。

「だいち2号に期待される防災利用やビジネス利用について」

- ・ 防犯や交通に役立てたらいいと思いました。
- ・ 国際的な防災組織ができれば、災害を防ぐことができ、国際平和にもつながると思います。
- ・ 民間でもネット上などで情報が公開されるとよいと思います。
- ・ 「だいち2号」については、NHKで放送がありましたので、ある程度関心がありました。今回の広島土砂崩れのような災害も、1日も早く予防して、地域の関係官庁に伝達していく手段を考えてください。
- ・ 地殻変動、農業、海洋分野に広く利用できることに感動した。
- ・ 最近、台風、ゲリラ豪雨などで大きな災害が各地で発生しているが、今後、その予知のための能力向上など進めていくべきである。なかなか難しい問題ですが、それができて初めて価値があると考えます。将来的には、台風の進路を変えたり、勢力を弱めるための技術が考えられないかなど、大いに研究を進めて欲しい。
- ・ 地震や大雨が予測できるようになれば、災害も最小限になると思う。地面の変化（山、火山）を早く予知できれば、災害を少なくできる。

タウンミーティング、その他について

- ・ 過去「JAXA i マンスリートーク」という Podcast が配信されていましたが、復活を希望します。タウンミーティングやその他講演会などを Podcast 形式で配信できないでしょうか。
- ・ 関西方面にもたくさんミーティングの機会をお願いします。
- ・ せっかくの機会ですので、集客がもっと多ければと思います。行政（開催地）のPRをもっと早く、広範にすればと思う。
- ・ 多くの人にJAXAの活動を知ってもらうよい機会でした。初めて参加しましたが、とても有意義でした。

- ・ 一方的な講演でなく、意見や質問の出せるタウンミーティングは、分かりやすいのでよかったと思う。
- ・ 宇宙のこととなると恩恵を被ってはいるものの、生活密着とはかけ離れているので、こういう機会に関心を深め、皆さまの研究努力の成果を知りたい。
- ・ できることなら私たちの年代よりも、小学生の頃から分かりやすくお話を聞けるような場所を作って欲しいと思う。
- ・ 先日放送された3賢者のようなWeb放送をもっと増やしてほしい。
- ・ 気象、放送、通信、地理など、社会に必要なことはさらに高め、利用分野も広げなければならないが、その他は最小限に。財政破綻状態では社会に余裕はないと思います。
- ・ 欧米、中国などの宇宙開発に比べて、予算などをもっと拡充すべきで、次世代への日本の宇宙開発のビジョンをもっとPRした方がよい。学校教育での啓発活動をもっと進めるべきで、日本の技術から見て十分対応できる。

